

平成25年

9月定例会

平成24年度決算を認定

あらまし

平成25年9月定例会は、9月17日から10月9日までの23日間の日程で開催されました。専決処分報告1件、専決処分報告と承認1件、市道の廃止・認定2件、財産の取得2件、条例改正9件、平成25年度補正予算8件、人事案件1件、平成24年度決算15件です。人事案件を除く一般議案は各委員会、補正予算は予算特別委員会、決算議案は決算特別委員会に付託され審査が行われ、いずれも原案のとおり承認、可決、認定されました。

接種助成事業、農道保全対策事業、渋川高崎線改良事業、特別支援学級運営事業などです。特別会計は、国民健康保険、介護保険、特別養護老人ホーム事業、農産物直売事業、下水道、農業集落排水事業などの8件で、いずれも全員一致で可決されました。



審査された決算書類

報告

市長専決処分の報告、和解及び損害賠償の額を定めることについてが1件ありました。

市道1-5749号線において、下り坂を走行中自宅から市道に進入してきた車両と衝突し、双方の車両が破損したものです。

新病院整備事業により、廃止しようとするものです。白井字大宮地区3路線です。

新病院整備事業により認定するものです。路線名は4-1053号線で起点終



新病院建設予定地

点は白井字大宮378-8から380-1です。

財産の取得について

学校給食共同調理場の厨房機器を取得するものです。南部給食共同調理場の取得金額は2億6880万円です。北部学校給食共同調理場の取得金額は2億1945万円です。

平成25年度補正予算

一般会計補正予算は、1976万円の追加です。歳入は県支出金、繰入金、市債などの増減です。

歳出は前橋・渋川シティマラソン実施事業、市民会館管理事業、学童保育対策事業、保育充実促進事業、子宮頸がん等ワクチン

平成24年度決算

一般会計の単年度会計は2391万2000円で特別会計を合わせた総決算額は、単年度収支額で2億5118万5000円の黒字となりました。市税収入については、前年度に比べ1億1825万7000円の減少です。

条例改正

渋川市防災会議条例、渋川市災害対策本部条例、市税条例、国民健康保険条例、福祉医療費の支給に関する条例、小口資金融資促進条例、渋川スカイランドパーク遊園地等条例、農業集落排水処理施設条例、農業集落排水事業受益者分担金徴収条例など各条例の一

議員提出議案

地方税財源の充実確保を求める意見書、森林吸収減対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを

人事案件

人権擁護委員の候補者として、渋川市北橘町、藤井俊一氏を推薦するもので、全員一致で同意されました。

阿久津市長の施政方針説明

2期目の市政運営に臨む所信の一端説明が、市長からありました。
 主な質疑、答弁の要旨は次のとおりです。

まちづくり

質疑 市民一人一人が幸せになることについての拡大的説明を。

答弁 市民をしっかり守ることが市長の勤め。市民主体の市政に今後も引き続き取り組んでいきます。

質疑 洪川市に住んで良かったと言われる具体策は。

答弁 各団体の統一化、地



洪川市本庁舎

域の文化を認め、連携、協力していくのも重要。一つ一つの事業に一体性を持ちながら進めていきます。

質疑 この4年間公正・公平な市政はしなかったと思う。その考えは。

答弁 私自身心外であり、残念。涙が出るほど悔しい。私は公平・公正な執行を4年間してきました。

財政

質疑 7年後の東京オリンピックが来る翌年には合併交付金は一本算定になり約31億円減る。元利償還金40億円超になる。市税減収、民生費増加、すべての人件費や市有施設の維持等を含めると平成32年度以降は非常に大変だと思う。財政面での市政継続をどう考える。

答弁 現在減債基金を7億

円の積み増しと地域振興基金25億円、平成32年度以降の後年度負担に対応しているということでご理解をお願いします。

少子高齢化

質疑 少子高齢化対策の具

体的考えは。

答弁 企業誘致、地場産業の育成が基本。後継者育成、雇用で少子化対策ができる。高齢者の交通網の整備にも取り組んでいきます。

質疑 人口減少対策が市政運営の基本。具体的対策は。

答弁 地場産業の持続型により、少子化が収まるのではないかと。企業誘致により雇用ができれば、人口減少は緩やかになります。2期目は本格的に着手しようと思っております。

道路・橋りよう整備

質疑 道路橋りよう整備が記載されていない背景は小野子、祖母島間橋りようは、合併協議事項。ごみ最終処分場建設の同意事項など守るべき約束事の対応は。

答弁 橋りようについては総合計画に入っています。今後健全財政を維持することが基本であり、それを見ながら橋りようについては進めていくこととなります。

市長施政方針(抜粋)

1 地域医療体制の確立

再編統合後の新病院を北毛地区の地域医療の核として、市民の皆さんが安心して暮らせる地域医療体制の充実に努めます

2 健康づくりと地域福祉・教育の充実

・市民の皆さんにスポーツに親しむ機会を拡大し、心身の健康づくりを推進します。また、スポーツを核とした地域コミュニティの構築を図り、健康で元気なまちづくりに取り組みます。

・すべての市民の皆さんが地域において、いきいきとした暮らしができるように、地域福祉の充実に努めます。

・子育て世代を支援するとともに、子どもを産み育てやすい環境づくりに取り組みます。

・小中学校の再編統合の支援を行うとともに教育環境の充実に努めます。

3 観光・地域産業の振興

・積極的な企業誘致を進めるとともに、地場産業の振興を支援します。また商業イベントへの支援を図り、産業振興に取り組みます。

・安全性や高付加価値のある農産物の生産を目指した洪川ブランドを確立することにより、農業所得の向上を図り農業後継者の育成・確保に努めます。

・伊香保温泉を核として、市内各地区の観光資源の一体的なPRと観光ルートづくりを推進します。また国内のみならずアジア諸国をターゲットに観光客の誘致を促進します。

4 文化・スポーツの振興

・市内の宿泊施設と連携をし、体育施設や公園施設などの有効活用を図り、スポーツ交流人口の拡大に努めます。

・市内に点在する史跡等の歴史的資産の活用を図ります。